

第1回日本病院薬剤師会
Future Pharmacist
Forum

日 程:2018年10月27日(土)、28日(日)
会 場:砂防会館別館 シェーンバッハ・サポー
主 催:一般社団法人 日本病院薬剤師会
大 会 長:木平 健治(一般社団法人 日本病院薬剤師会 会長)
実行委員長:松原 和夫(一般社団法人 日本病院薬剤師会 副会長)

第1回 日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum 開催にあたって

このたび、懸案であった日本病院薬剤師会が独自の学術大会として、「第1回 日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum」を、平成30年10月27日(土)、28日(日)の両日に、本年度の地方連絡協議会の開催に合わせて、砂防会館別館シェーンバッハ・サボー（東京都千代田区）において開催する運びとなりました。

本フォーラムでは、日病薬の常置委員会がその活動の成果や関連する課題をテーマとするシンポジウムをはじめ、実行委員会特別企画、特別講演等により、今後の、未来の薬剤師に求められる役割について活発な情報共有・討議を行うことを目的として、企画しております。

本フォーラムは初の試みでもあり、開催にあたっては、企画立案を担当した実行委員会、関連するシンポジウム等を企画頂いた常置委員会をはじめとして本会が一体となって準備を進めてまいりました。不慣れな点や至らぬ点もあろうかと存じます、多数の皆様のご理解・ご協力とご参加を賜り、「第1回 日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum」が、会員の皆様の学術的研鑽及び親交を図る場となりますことを祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

第1回 日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum

大会長：一般社団法人 日本病院薬剤師会 会長 木平 健治

実行委員長：一般社団法人 日本病院薬剤師会 副会長 松原 和夫

第1回 日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum 組織

大会長

木平 健治 一般社団法人日本病院薬剤師会 会長

実行委員長

松原 和夫 一般社団法人日本病院薬剤師会 副会長
(京都大学医学部附属病院 薬剤部)

実行委員会委員

賀勢 泰子 一般社団法人日本病院薬剤師会 副会長
(医療法人久仁会 鳴門山上病院 薬剤部)

川上 純一 一般社団法人日本病院薬剤師会 副会長
(浜松医科大学医学部附属病院 薬剤部)

林 昌洋 一般社団法人日本病院薬剤師会 副会長
(国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 薬剤部)

武田 泰生 一般社団法人日本病院薬剤師会 副会長
(鹿児島大学病院 薬剤部)

栗原 健 一般社団法人日本病院薬剤師会 専務理事

外山 聡 一般社団法人日本病院薬剤師会 常務理事
(新潟大学医歯学総合病院 薬剤部)

但馬 重俊 一般社団法人日本病院薬剤師会 常務理事
(NTT 西日本大阪病院 薬剤部)

奥田 真弘 一般社団法人日本病院薬剤師会 常務理事
(三重大学医学部附属病院 薬剤部)

眞野 成康 一般社団法人日本病院薬剤師会 常務理事
(東北大学病院 薬剤部)

大会事務局

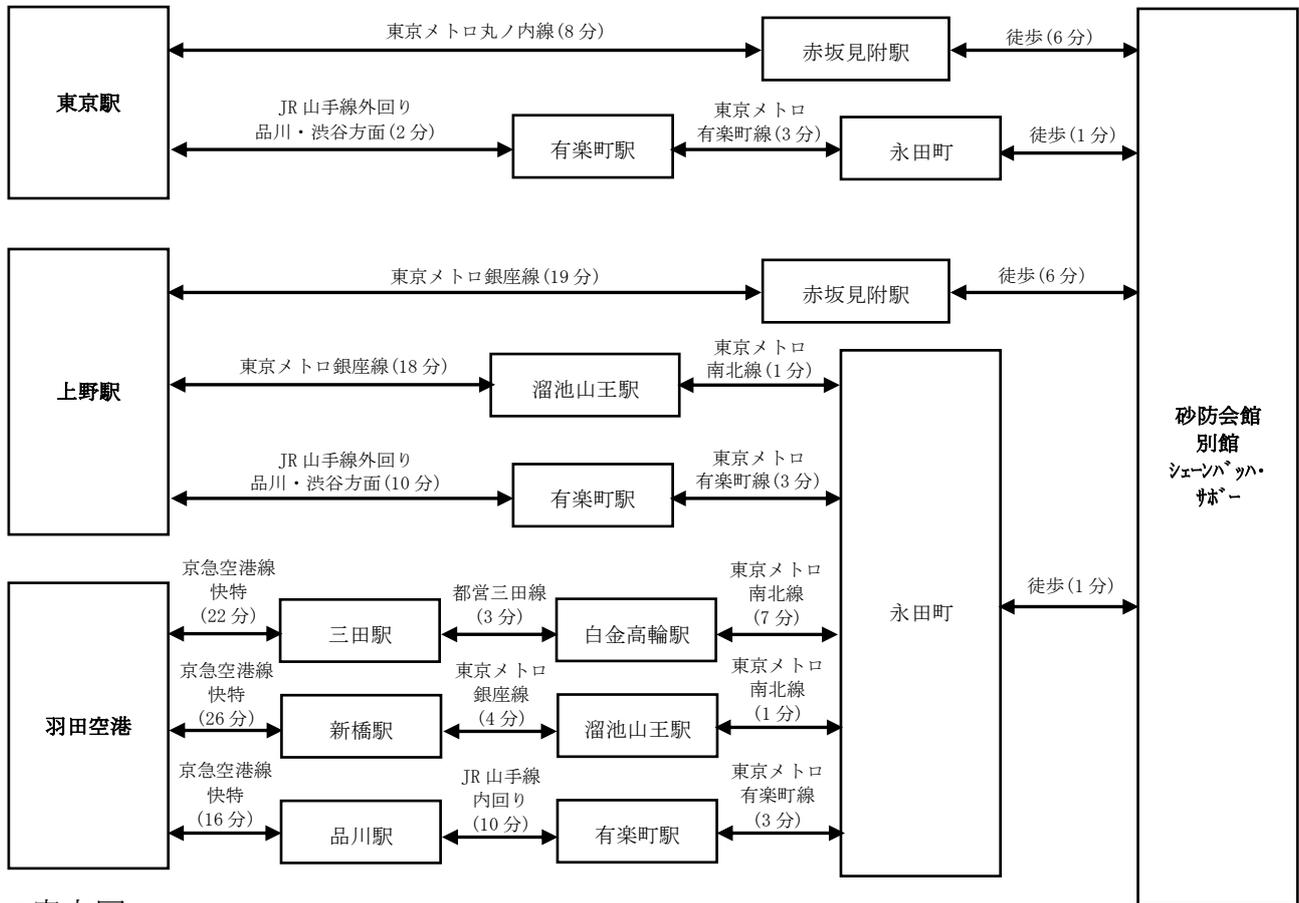
一般社団法人日本病院薬剤師会 事務局総務課
〒150-0002 渋谷区渋谷 2-12-15 日本薬学会長井記念館 8階
TEL : 03-3406-0485 FAX : 03-3797-5303
E-mail : somu@jshp.or.jp

会場アクセス

砂防会館別館 シェーンバッハ・サボー

住所：東京都千代田区平河町 2-7-4

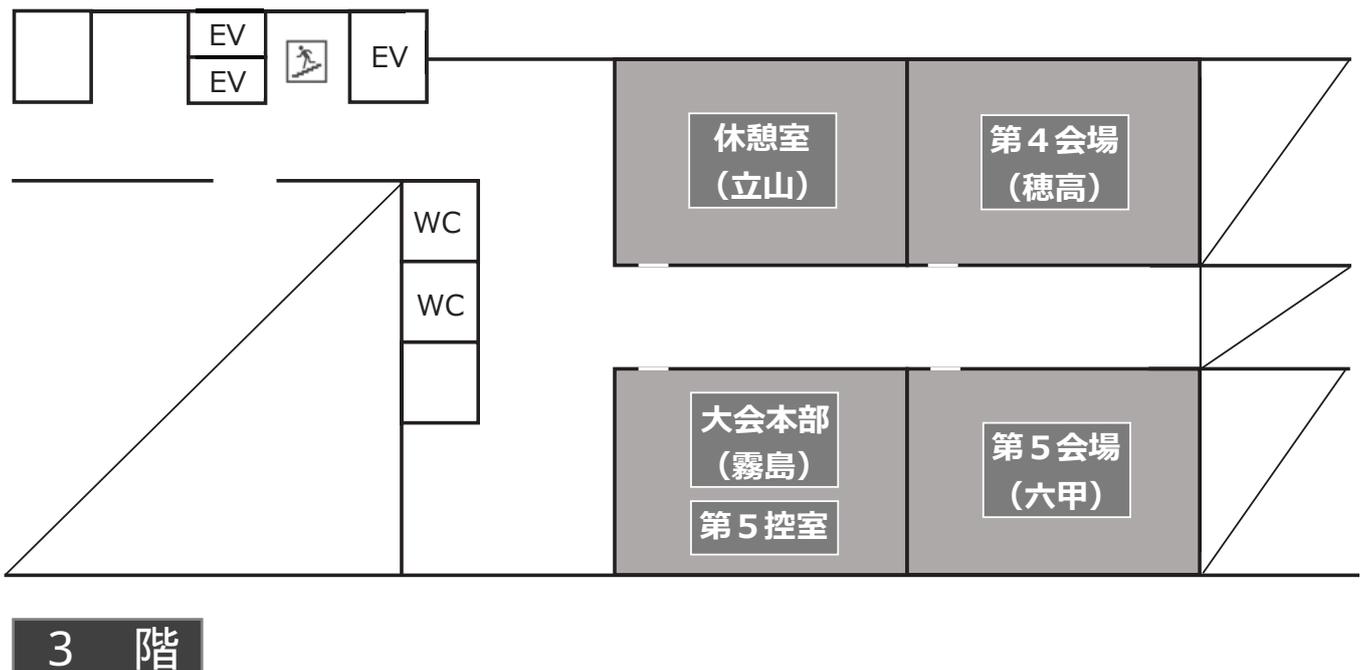
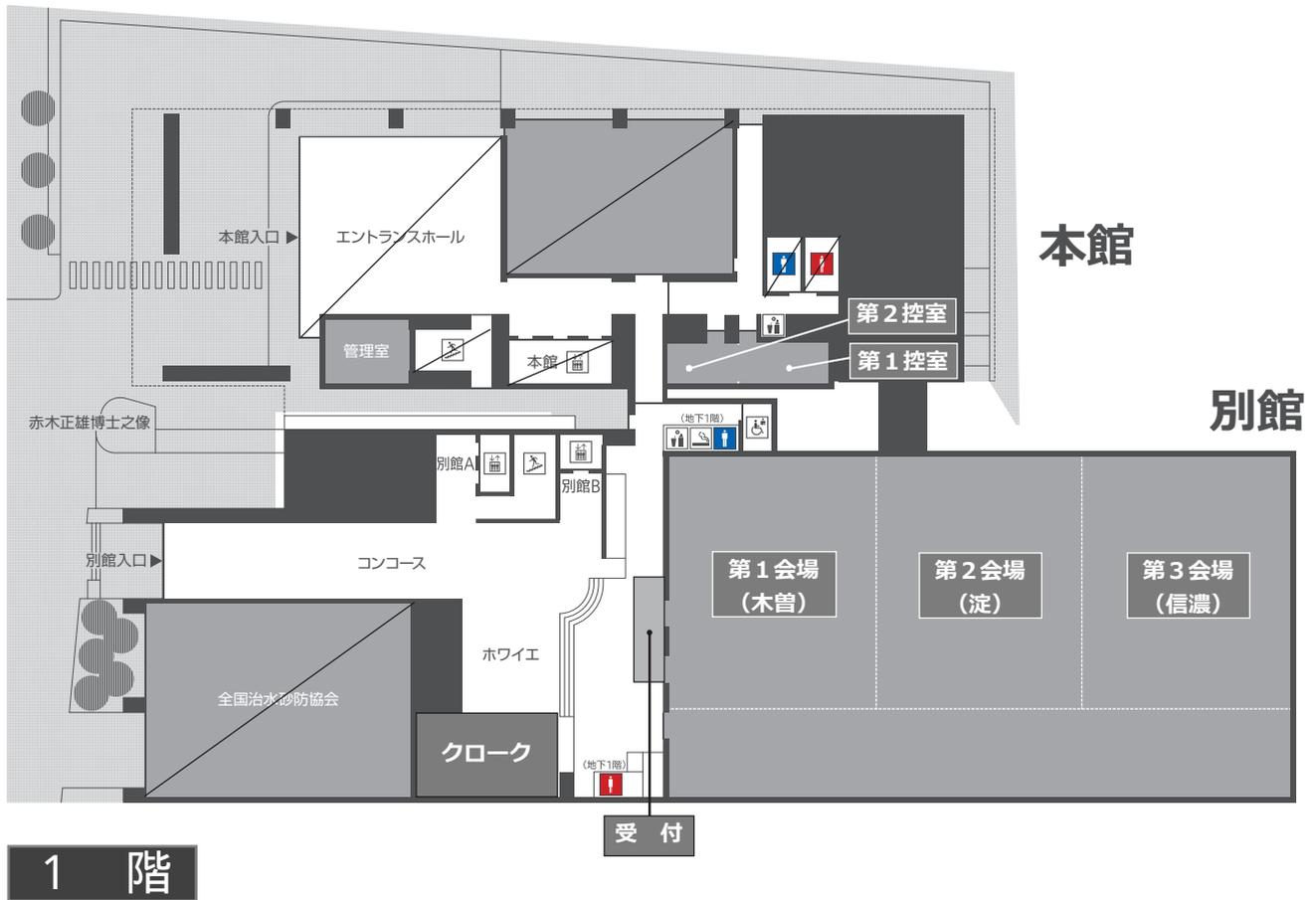
TEL:03-3261-8386



<案内図>



会場案内



第3控室・第4控室は2階にあります。

10月27日(土) 第1回 日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum日程表

砂防会館別館 シェーンパツハ・サボー						
第1会場	第2会場	第3会場	休憩室	大会本部	第4会場	第5会場
1階木曾	1階淀	1階信濃	3階立山	3階霧島	3階穂高	3階六甲

10:00						
11:00	11:00~12:00 ランチョンセミナー① 東和薬品(株) 「国際標準が求める医薬品安全管理の実際」 後藤 一美 座長 山田 成樹	11:30~12:30 ランチョンセミナー② 日医工(株) 「炎症性腸疾患における生物学的製剤の役割とバイオシミラーへの期待」 長堀 正和 座長 清水 淳一				
12:00		12:45~13:00 開会式				
13:00	13:00~16:00 厚生労働省医政局 経済課委託事業 講習会(東京1) 「バイオ医薬品とバイオシミラーを正しく理解していただくために」 日向 昌司、米澤 淳 領域V-1 2.0単位 P04-18-02222	13:00~14:00 特別講演 「病院薬剤師への期待」 山口 育子 座長 木平 健治 領域I-1 0.5単位 P04-18-02671			13:00~17:00 シンポジウム① 中小病院委員会 療養病床委員会 診療所委員会	13:00~17:00 ワークショップ 医療安全対策委員会 「専従薬剤師GRMのためのワークショップ」 (事前予約制) 座長 土屋 文人 領域IV-1 2.5単位 P04-18-02673
14:00			14:30~17:00 地方連絡協議会	休憩室 13:00~17:00 穂高中継予定	大会本部	「中小・療養病院で取り組める処方適正化とは～ポリファーマシーを中心として～」 座長 樋島 学/荒川 隆之 「患者・家族のQOLを支えるために -ジェネラリストとしての治療最適化へのかかわり-」 座長 武内 恵子/渡辺 康二 領域III-1 2.5単位 P04-18-02672
15:00		懇親会準備				
16:00						
17:00	16:30~17:30 厚生労働省医政局 経済課委託事業 市民公開講座(東京) 米澤 淳					
18:00		17:30~19:30 懇親会				
19:00						

10月28日(日) 第1回 日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum日程表

砂防会館別館 シェーンパツハ・サポー						
第1会場	第2会場	第3会場	休憩室	大会本部	第4会場	第5会場
1階木曾	1階淀	1階信濃	3階立山	3階霧島	3階穂高	3階六甲
8:00						
9:00	9:00~11:00 シンポジウム② 地域医療委員会 「地域包括ケア時代における病院薬剤師の役割 “これからの薬剤師に求められるスキルを考える”」 座長 荒木 隆一/清水 孝子 領域Ⅲ-1 1.0単位 P04-18-02674	9:00~11:00 シンポジウム③ 実行委員会 「高齢者の医薬品適正使用の指針を使いこなそう！」 座長 林 昌洋 領域Ⅴ-3 1.0単位 P04-18-02676	9:00~11:00 シンポジウム④ 薬剤業務委員会 「外来患者への薬剤師業務の進め方」 座長 眞鍋 伸次/矢野 亨治 領域Ⅲ-1 1.0単位 P04-18-02678		9:00~11:00 シンポジウム⑤ 臨床研究推進委員会 「創薬育薬チームにおける病院薬剤師の役割と人材育成を考える」 座長 田崎 嘉一/近藤 直樹 領域Ⅱ-6 1.0単位 P04-18-02680	9:00~11:00 シンポジウム⑥ 精神科病院委員会 「ベンゾジアゼピン系抗不安薬・睡眠薬適正化へのアプローチ」 座長 天正 雅美/柳 智之 領域Ⅲ-1 1.0単位 P04-18-02682
10:00						
11:00						
12:00	11:30~12:30 ランチョンセミナー③ 大原薬品工業(株) 「臨床検査値を活用した処方監査の質的向上」 横山 威一郎 座長 神田 博仁	11:30~12:30 ランチョンセミナー④ あゆみ製薬(株) 「アセトアミノフェンと肝機能検査」 熊谷 雄治 座長 林 昌洋	11:30~12:30 ランチョンセミナー⑤ 日本化薬(株) 「これからの病院薬剤師のキャリアビジョン」 北原 隆志 座長 武田 泰生	休憩室	大会本部	休憩室
13:00	13:00~15:00 シンポジウム⑦ 地域医療委員会 「地域包括ケア時代における病院薬剤師の役割 “医療連携の架け橋としてあり方”」 座長 樋島 学/遠藤 秀治 領域Ⅲ-2 1.0単位 P04-18-02675	13:00~15:00 シンポジウム⑧ 医薬情報委員会 「DI業務の進め方2018を実現するために」 座長 望月 眞弓/後藤 伸之 領域Ⅱ-3 1.0単位 P04-18-02677	13:00~15:00 シンポジウム⑨ 実行委員会 「変革する医療を担う薬剤師職能とは…一次世代へのメッセージ」 座長 松原 和夫/武田 泰生 領域Ⅱ-5 1.0単位 P04-18-02679		13:00~15:00 シンポジウム⑩ 薬学教育委員会 「どうする？改訂モデル・コアカリキュラムに準拠した実習」 座長 石澤 啓介/渡邊 真知子 領域Ⅱ-6 1.0単位 P04-18-02681	13:00~15:00 シンポジウム⑪ 精神科病院委員会 「精神科における病棟業務を再考(再興)する」 座長 谷藤 弘淳/木藤 弘子 領域Ⅲ-1 1.0単位 P04-18-02683
14:00						
15:00		15:00~ 閉会式				

1. 参加者へのご案内

●参加受付

・事前参加登録

当日受付する必要はございません。事前にお送りしたネームカードをご着用の上、ご参加ください。また、当日受付付近にてプログラム集をお受取ください。

・当日参加登録

参加受付は10月27日（土）、10月28日（日）となっております。

参加申込書に必要事項をご記入の上、参加登録費を添えて、『当日登録受付』にて、お申し込みください。参加費のお支払いは、現金のみとなります。なお、定員に達した場合は、参加できませんのでご了承ください。

【当日参加登録】

日 時：平成30年10月27日（土） 10:00～17:30

日 時：平成30年10月28日（日） 8:00～14:00

場 所：砂防会館別館シェーンバッハ・サボー 1F 受付

参加費：5,000円（税込）

・ネームカード

所属・氏名等を各自でご記入の上、会場内では必ずご着用ください。

●懇親会

日 時：平成30年10月27日（土） 17:30～19:30

場 所：砂防会館別館シェーンバッハ・サボー 1F 淀

・事前参加登録

当日受付する必要はございません。事前にお送りしたネームカードをご着用の上、ご参加ください。

・当日参加登録

『懇親会受付』（砂防会館別館シェーンバッハ・サボー 1F 玄関ホール）にてお申し込みください。懇親会費のお支払いは、現金のみとなります。なお、定員に達し次第締め切らせていただきます。ご了承ください。

【当日参加登録】

日 時：平成30年10月27日（土） 10:00～17:30

場 所：砂防会館別館シェーンバッハ・サボー 1F 受付

参加費：5,000円（税込）

●ランチョンセミナー

- ・テーマ等の詳細については、プログラムをご確認ください。
- ・ランチョンセミナー整理券当日配布時間・場所について

【10月27日】

10:00～11:00 砂防会館別館シェーンバッハ・サボー 1F 玄関ホール

【10月28日】

8:00～11:00 砂防会館別館シェーンバッハ・サボー 1F 玄関ホール
定員に達し次第締め切らせていただきます。ご了承ください。

●日病薬病院薬学認定薬剤師制度研修単位シールについて

- ・ランチョンセミナーは、単位発行されませんのでご了承ください。
- ・シンポジウム毎に日病薬病院薬学認定薬剤師制度の研修単位シールを発行いたします。研修単位シールが必要な方は、シンポジウム開始前に必ず引換券を受領し、シンポジウム終了後に引換券と研修単位シールを交換してください。なお、引換券の紛失及び後日研修単位シールとの交換には対応できませんのでご了承ください。
- ・引換券及び研修単位シールは会場前で配布、交換いたします。

【引換券配布時間】

シンポジウム開始 10 分前から開始 5 分後まで

【研修単位交換時間】

シンポジウム終了後 10 分間

- ・シンポジウムの研修カリキュラム及び単位数については、プログラムをご確認ください。

●手荷物お預かりについて

- ・砂防会館別館シェーンバッハ・サボー 1F クロークにてお手荷物をお預かりしますのでご利用ください。なお、貴重品はお預かりできませんのでご了承ください。

【受付時間】

10月27日（土） 10:00～19:30

10月28日（日） 8:00～15:45

●その他のご案内

- ・地方連絡協議会：10月27日（土） 14:30～17:00
若干名（30名程度）席がございますので、ご参加ください。

なお、参加は傍聴となりますのでご了承ください。また、傍聴に当たっては、次の留意事項を遵守してください。これらを遵守できない場合は、退場していただくことがあります。

1. 事務局の指定した場所以外に立ち入ることはできません。
2. 携帯電話等音のでる機器については、電源を切るか、マナーモードに設定してください。
3. 写真撮影、ビデオ撮影、録音をすることはできません。
4. 会議の妨げにならないよう静にしてください。
5. その他、会長と事務局職員の指示に従ってください。

●座長へのご案内

- ・座長受付は設けておりません。ご担当のセッション開始15分前までに各会場内最前列の次座長席にご着席ください。
- ・各セッションの進行は、座長にお任せいたしますが、時間内でセッションを終了していただきますよう、円滑な進行にご協力をお願いいたします。

●発表者へのご案内

- ・ご担当のセッション開始15分前までに各会場内最前列の演者席にご着席ください。
- ・利益相反の開示については、タイトルスライドの後の2枚目に、開示してください。開示用スライドのひな形については、事務局総務課までご連絡ください。利益相反の開示の対象については、「一般社団法人日本病院薬剤師会における臨床研究に係る利益相反マネジメントポリシー」をご確認ください。

<発表形式>

- ・各会場には、Windows7 または 10、MicrosoftPowerPoint2007/2010/2013 の PC を準備しております。

	Windows	Macintosh
メディア持込	○	×
PC 本体持込	○	○
OS	Windows7・10	
データ形式	PowerPoint2007/2010/2013	

<メディア持込の場合>

- ・データはUSBフラッシュメモリに保存してお持ちください。
- ・OS標準フォント（MSゴシック、MS明朝、Arial、Times New Roman、Century等）をご使用ください。

- ・プレゼンテーションに他のデータ（静止画・動画・グラフ等）をリンクさせている場合は、必ず他のデータも一緒に保存し、作成した PC とは別の PC にて事前動作確認をお願いいたします。

<PC 本体持込の場合>

- ・Macintosh をご使用の場合は、PC 本体をお持ちください。
- ・プロジェクターのモニター端子は、RGB ケーブル（ミニ D-sub 15pin）を準備する予定です。変換コネクタが必要な場合は、ご自身でお持ちください。
- ・AC アダプターを必ずお持ちください。
- ・スクリーンセーバー、省電力設定は事前に解除してください。
- ・会場にて用意したプロジェクターと接続できない場合に備え、必ずバックアップ用データ（USB フラッシュメモリ）をご持参してください。

プログラム

第1日目 10月27日(土)

第1会場(砂防会館別館シェンバッハ・サボー 木曾)

厚生労働省医政局経済課委託事業

「バイオ医薬品とバイオシミラーを正しく理解していただくために」

講習会

13:00～16:00

日病薬病院薬学認定薬剤師制度(V-1:2.0単位)

「バイオ医薬品とバイオシミラーの基礎知識」

国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部 第3室主任研究官 日向 昌司

「バイオシミラーを評価するポイントと病院での導入事例」

京都大学医学部附属病院 薬剤部 副部長 米澤 淳

市民公開講座

16:30～17:30

「バイオ医薬品・バイオシミラーって何？」

京都大学医学部附属病院 薬剤部 副部長 米澤 淳

第2会場(砂防会館別館シェンバッハ・サボー 淀)

開会式

12:45～13:00

特別講演

13:00～14:00

日病薬病院薬学認定薬剤師制度(I-1:0.5単位)

座長:一般社団法人日本病院薬剤師会 会長 木平 健治

「病院薬剤師への期待」

認定NPO法人 ささえあい医療人権センターCOML 理事長 山口 育子

認定NPO法人 ささえあい医療人権センターCOML (COML)

1990年9月に活動をスタートし、2002年以降はNPO法人として活動を続けています。2016年7月1日、更に公益性の高いNPOとして「認定NPO法人」に認証されました。

患者の主体的医療参加を目指し、患者一人ひとりが「いのちの主人公」「からだの責任者」としての自覚を持った「賢い患者になりましょう」と呼びかけてきました。受け身から自立へ、そして成熟した患者として医療に参画することが目標です。

また、医療現場にインフォームド・コンセントとコミュニケーションの充実をはかり、患者・医療者がそれぞれ半分ずつの役割を担い合う“協働する医療”を目指しています。

活動内容は、会報誌「COML」の発行、電話相談、ミニセミナー「患者塾」、SPグループ(SP: Simulated Patient ; 模擬患者)、病院探検隊、患者と医療者のコミュニケーション講座、医療をささえる市民養成講座、医療関係会議の一般委員養成講座など。患者と医療者のよりよいコミュニケーションを構築するための活動を続けています。

山口 育子 (ヤマグチ イコ)

大阪市生まれ。自らの患者体験から、患者の自立と主体的医療への必要性を痛感していた1991年11月COMLと出会う。活動趣旨に共感し、1992年2月にCOMLのスタッフとなり、相談、編集、渉外などを担当。2002年4月に法人化したNPO法人ささえあい医療人権センターCOMLの専務理事兼事務局長を経て、2011年8月理事長に就任。2018年6月20日に『賢い患者』（岩波新書）刊行。

第3会場（砂防会館別館シェーンバッハ・サボー 信濃）

地方連絡協議会

14:30～17:00

第4会場（砂防会館別館シェーンバッハ・サボー 穂高）

シンポジウム① 中小病院委員会・療養病床委員会・診療所委員会企画 13:00～17:00

日病薬病院薬学認定薬剤師制度（Ⅲ－1 2.5単位）

「中小・療養病院で取り組める処方の適正化とは
～ポリファーマシーを中心として～」

オーガナイザー：樋島 学（中小病院委員会 委員長）
座長：樋島 学（中小病院委員会 委員長）
荒川 隆之（中小病院委員会 委員）

「ポリファーマシーの概要」

医療法人恒仁会 新潟南病院 薬剤部 武藤 浩司

「地域で取り組むポリファーマシー」

地域医療機能推進機構 九州病院 薬剤部長 末松 文博

「高齢者と腎からポリファーマシーを考える」

医療法人愛生会 くまもと温石病院 薬局長 森 直樹

「チーム医療とポリファーマシー」

医療法人社団和楽仁 芳珠記念病院 薬剤部 係長 中川 貴史

「患者・家族のQOLを支えるために
～ジェネラリストとしての治療最適化への関わり～」

オーガナイザー：清水 孝子（診療所委員会 委員長）
丹下 悦子（診療所委員会 副委員長）
座長：武内 恵子（診療所委員会 委員）
渡辺 康二（診療所委員会 委員）

- 「有床診療所の一人薬剤師として ～札幌共立医院における薬剤師業務の現状と課題～」
医療法人為久会 札幌共立医院 薬局長 阿部 往好
- 「当施設における糖尿病性腎症 重症化予防対策とチーム医療」
医療法人健清会 那珂記念クリニック 薬局 鯉淵 忠敬
- 「循環器専門クリニックにおける重症化予防 一心不全患者さんを多職種で支援」
公益財団法人日本心臓血圧研究振興会 榊原記念クリニック 薬剤科 科長 高田 めぐみ
- 「企業コミュニティへの薬学的ケア」
住友ビルディング診療所 薬局 丹下 悦子
- 「診療所薬剤師業務（診療陪席・訪問診療同行）ー近接性と継続性ー」
医療法人社団家族の森 多摩ファミリークリニック 副院長 八田 重雄

第5会場（砂防会館別館シェーンバッハ・サボー 六甲）

<ワークショップ>

医療安全対策委員会企画

13:00～17:00

日病薬病院薬学認定薬剤師制度（IV-1 2.5単位）

「専従薬剤師 GRM のためのワークショップ」

オーガナイザー：土屋 文人（医療安全対策委員会 前委員長）
舟越 亮寛（医療安全対策委員会 委員長）
座長：土屋 文人（医療安全対策委員会 前委員長）

【基調講演】

「医薬品安全使用のためのマニュアル改訂が求めるもの」

国際医療福祉大学薬学部 特任教授 土屋 文人

「医療安全管理部門における薬剤師専従 GRM に求められる機能」

「国立大学病院の場合」

北海道大学病院 薬剤部 沖 洋充

「市立大学病院の場合」

大阪医科大学附属病院 薬剤部課長／医療安全推進部 西原 雅美

「一般病院の場合」

NTT 西日本大阪病院 薬剤部 薬剤主任 田中 義人

【ワークショップ】

メインテーマ

「医薬品安全管理室 GRM の実態を共有する」

ワークショップ1

「専従専任 GRM の役割の現状を把握共有する」

ワークショップ2

「専従専任 GRM のあるべき役割と要件を立案提言しよう」

ファシリテーター：土屋 文人（医療安全対策委員会 前委員長）

池田 和之（医療安全対策委員会 委員）

沖 洋充（医療安全対策委員会 委員）

河瀬 留美（医療安全対策委員会 委員）

菅野 浩（医療安全対策委員会 委員）

増江 俊子（医療安全対策委員会 委員）

三澤 純（医療安全対策委員会 委員）

田中 義人（NTT 西日本大阪病院 薬剤部薬剤主任）

西原 雅美（大阪医科大学附属病院 薬剤部課長／医療安全推進部）

古田 康之（昭和大学病院 医療安全管理部門）

第2日目 10月28日(日)

第1会場(砂防会館別館シェンバッハ・サボー 木曾)

シンポジウム② 地域医療委員会企画

9:00~11:00

日病薬病院薬学認定薬剤師制度(Ⅲ-1 1.0単位)

「地域包括ケア時代における病院薬剤師の役割

“これからの薬剤師に求められるスキルを考える”

オーガナイザー：荒木 隆一(地域医療委員会 委員長)

座長：荒木 隆一(地域医療委員会 委員長)

清水 孝子(地域医療委員会 委員)

「EBMを実践するということ」

医療法人徳仁会 中野病院 薬局 青島 周一

「地域急性期病院で求められるジェネラリスト薬剤師スキル」

地域医療機能推進機構 札幌北辰病院 薬剤科 主任 門村 将太

「病院薬剤師のポテンシャルを活かした医療安全と地域活動の素敵カタチとは」

霧島市立医師会医療センター 薬剤部 副薬剤部長 岸本 真

「患者さん、そして地域に寄り添う薬剤師(認知症症例を通して考える高齢者薬物療法)」

医療法人つくし会南国病院 薬剤部 川添 哲嗣

「2025年に向けて一步踏み込んだ薬剤師業務 ~トレーニングレポートから病院研修まで~」

恩賜財団大阪府済生会中津病院 薬剤部長 萱野 勇一郎

シンポジウム⑦ 地域医療委員会企画

13:00~15:00

日病薬病院薬学認定薬剤師制度(Ⅲ-2 1.0単位)

「地域包括ケア時代における病院薬剤師の役割

“医療連携の架け橋としてのあり方”

オーガナイザー：荒木 隆一(地域医療委員会 委員長)

座長：樋島 学(中小病院委員会 委員長)

遠藤 秀治(地域医療委員会 委員)

「外来薬剤師センターにおける医療連携

~大規模病院で地域との連携を定着させた新しい薬剤師業務~

岐阜県総合医療センター 薬剤センター 部長 谷沢 克弥

「病院が主導するポリファーマシー是正」

宝塚市立病院 薬剤部 部長 吉岡 睦展

「慢性期医療と地域連携」

公益財団法人日産厚生会佐倉厚生園病院 薬剤科医療技術部長・薬剤科長 本澤 葉留美

「地方都市における地域連携の取り組み」

医療法人生仁会須田病院 薬剤部長 定岡 邦夫

第2会場（砂防会館別館シェンバツハ・サボー 淀）

シンポジウム③ 実行委員会企画

9:00～11:00

日病薬病院薬学認定薬剤師制度（V-3 1.0単位）

「高齢者の医薬品適正使用の指針を使いこなそう！」

オーガナイザー：林 昌洋（日本病院薬剤師会 副会長）
座長：林 昌洋（日本病院薬剤師会 副会長）

【基調講演】

「高齢者の医薬品適正使用の指針について」

東京大学大学院医学系研究科 加齢医学 教授 秋下 雅弘

【シンポジウム】

「高齢者の腎機能低下時の薬物投与と薬物相互作用の考え方」

東京大学医学部附属病院 薬剤部 助教・副薬剤部長 大野 能之

「高齢者薬物療法適正化：チームの取り組みと薬剤師の役割」

虎の門病院 薬剤部 那須 いずみ

<シンポジウム④>

医薬情報委員会企画

13:00～15:00

日病薬病院薬学認定薬剤師制度（II-3 1.0単位）

「DI 業務の進め方 2018 を実現するために」

オーガナイザー：望月 眞弓（医薬情報委員会 前委員長）
林 昌洋（日本病院薬剤師会 副会長）
座長：望月 眞弓（医薬情報委員会 前委員長）
後藤 伸之（医薬情報委員会 委員長）

「全体の概要」

慶應義塾大学病院 薬剤部長 望月 眞弓

「大規模病院ができること、すべきこと～実務の面から（情報収集と提供）～」

広島大学病院 薬剤部 薬剤主任 富田 隆志

「大規模病院ができること、すべきこと～実務の面から（薬事委員会等）～」

東京女子医科大学病院 薬剤部長 木村 利美

「大規模病院ができること、すべきこと～教育の面から～」

神戸大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤主任 谷藤 亜希子

「大規模病院ができること、すべきこと～研究の面から～」

名古屋大学医学部附属病院 教授・薬剤部長 山田 清文

「中小規模病院ができること、すべきこと」

公益財団法人仙台市医療センター仙台オープン病院 薬剤部 主任 橋本 貴尚

「日本病院薬剤師会ができること、すべきこと」

虎の門病院 薬剤部長 林 昌洋

第3会場（砂防会館別館シェーンバッハ・サボー 信濃）

シンポジウム④ 薬剤業務委員会企画

9:00～11:00

日病薬病院薬学認定薬剤師制度（Ⅲ－1 1.0単位）

「外来患者への薬剤師業務の進め方」

オーガナイザー：宮本 篤（薬剤業務委員会 前委員長）
座長：眞鍋 伸次（薬剤業務委員会 委員）
矢野 亨治（薬剤業務委員会 前委員）

「がん領域」

熊本大学医学部附属病院 薬剤部 大山 高廣

「糖尿病領域」

京都桂病院 薬剤科 副主任 三上 有希

「認知症領域」

愛知学院大学薬学部 教授 山村 恵子

「周術期領域」

神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部 吉田 千恵美

「ポリファーマシー領域」

KKR 高松病院 薬剤科 上野 良夫

シンポジウム⑨ 実行委員会企画

13:00～15:00

日病薬病院薬学認定薬剤師制度（Ⅱ－5 1.0単位）

「変革する医療を担う薬剤師職能とは ー次世代へのメッセージー」

オーガナイザー：松原 和夫（日本病院薬剤師会 副会長）
武田 泰生（日本病院薬剤師会 副会長）
座長：松原 和夫（日本病院薬剤師会 副会長）
武田 泰生（日本病院薬剤師会 副会長）

「次世代医療を担う薬剤師に求められるものー行政の立場からー」

独立行政法人医薬品医療機器総合機構 上席審議役 宇津 忍

「医療の変革に対応した病院薬剤師職能の方向性を求めてー日本病院薬剤師会事業計画からー」

一般社団法人日本病院薬剤師会 会長 木平 健治

「想いと協働」

京都大学医学部附属病院 教授・薬剤部長 松原 和夫

「私がしりたい!? 『薬剤師職能の勘所』」

NTT 西日本大阪病院 薬剤部長 但馬 重俊

「新時代を切り開いた「せごどん」に学ぶ～次世代リーダーの資質と育成～」

鹿児島大学病院 教授・薬剤部長 武田 泰生

閉会式

15:00～

第4会場（砂防会館別館シェーンバッハ・サボー 穂高）

シンポジウム⑤ 臨床研究推進委員会企画

9:00～11:00

日病薬病院薬学認定薬剤師制度（Ⅱ－6 1.0単位）

「創薬育薬チームにおける病院薬剤師の役割と人材育成を考える」

オーガナイザー：田崎 嘉一（臨床研究推進委員会 委員長）
近藤 直樹（臨床研究推進委員会 副委員長）
座長：田崎 嘉一（臨床研究推進委員会 委員長）
近藤 直樹（臨床研究推進委員会 副委員長）

「創薬・育薬に係る薬事規制とそのポイント」

北里大学医学部 医学部附属臨床研究センター 企画開発部門 講師 渡邊 達也

「創薬に対する病院薬剤師の役割（1）-ロゼックス®ゲルの臨床開発に寄与して-」

昭和薬科大学 教授 渡部 一宏

「創薬に対する病院薬剤師の役割（2）-オランザピン第Ⅱ相臨床試験を通して-」

国立がん研究センター中央病院 薬剤部 矢内 貴子

「育薬に対する病院薬剤師の役割-新薬承認後の薬剤師の活動を通して-」

国立がん研究センター東病院 薬剤部 副薬剤部長 松井 礼子

「創薬育薬医療チームの一員としての薬剤師の人材育成について」

長崎大学病院 臨床研究センター事務局長・薬剤主任 鶴丸 雅子

シンポジウム⑩ 薬学教育委員会企画

13:00～15:00

日病薬病院薬学認定薬剤師制度（Ⅱ－6 1.0単位）

「どうする？改訂モデル・コアカリキュラムに準拠した実習」

オーガナイザー：石井 伊都子（薬学教育委員会 委員長）
座長：石澤 啓介（薬学教育委員会 委員）
渡邊 真知子（薬学教育委員会 委員）

「本シンポジウムの意図（大学からの視点・要望）」

大阪薬科大学 臨床薬学教育研究センター 教授 中村 敏明

「総合大学の実務実習」

藤田保健衛生大学病院 薬剤部 部長 山田 成樹

「薬学部がない県の実習」

鹿児島大学病院 薬剤部 薬剤主任 屋地 慶子

「地域病院の実習」

中国中央病院 薬剤部長 原 景子

「大学-病院-薬局の実習の実際と連携の在り方」

東北医科薬科大学薬学部 教授 村井 ユリ子

第5会場（砂防会館別館シェーンバッハ・サボー 六甲）

シンポジウム⑥ 精神科病院委員会企画

9:00～11:00

日病薬病院薬学認定薬剤師制度（Ⅲ－1 1.0単位）

「ベンゾジアゼピン系抗不安薬・睡眠薬適正化へのアプローチ」

オーガナイザー：天正 雅美（精神科病院委員会 委員長）
谷藤 弘淳（精神科病院委員会 副委員長）
座長：天正 雅美（精神科病院委員会 委員長）
柳 智之（精神科病院委員会 委員）

【基調講演】

「ベンゾジアゼピン系薬剤の適正使用」

東京医科大学精神医学分野 主任教授 井上 猛

【シンポジウム】

「ベンゾジアゼピン系薬の減量方法」

東邦大学薬学部 教授 吉尾 隆

「ベンゾジアゼピン系薬服用者に対する服薬指導」

東京女子医科大学 薬剤部 薬剤師長 高橋 結花

「ベンゾジアゼピン系睡眠薬の適正化に向けて」

浅井病院 薬剤部 飯塚 大祐

シンポジウム⑩ 精神科病院委員会企画

13:00～15:00

日病薬病院薬学認定薬剤師制度（Ⅲ－1 1.0単位）

「精神科における病棟業務を再考（再興）する」

オーガナイザー：天正 雅美（精神科病院委員会 委員長）
谷藤 弘淳（精神科病院委員会 副委員長）
座長：谷藤 弘淳（精神科病院委員会 副委員長）
木藤 弘子（精神科病院委員会 委員）

【基調講演】

「今後の精神医療の方向性」

厚生労働省保険局医療課 主査 高山 知子

【シンポジウム】

「退院後の生活を見据えた入院中からの薬剤師のかかわり～統合失調症を中心に～」

岡山県精神科医療センター 薬剤課 香川 あずさ

「精神科病棟業務を考える ―当院の今までとこれから（双極性障害をとおして）―」

長野県立こころの医療センター駒ヶ根 薬局長 五味 和彦

「思春期精神科医療における薬剤師の関わり」

神奈川県立精神医療センター 薬剤科 小林 真美

ランチョンセミナー

第1日目 10月27日(土)

ランチョンセミナー①(共催:東和薬品株式会社) 11:00~12:00

第1会場(シェーンバツハ・サボー木曾)

座長:山田 成樹(藤田医科大学病院 薬剤部長)

「国際標準が求める医薬品安全管理の実際

～国際医療機能評価(JCI)認証への取り組み～」

聖路加国際病院 薬剤部長 後藤 一美

ランチョンセミナー②(共催:日医工株式会社) 11:30~12:30

第2会場(シェーンバツハ・サボー淀)

座長:清水 淳一(東京都済生会中央病院 薬剤部長)

「炎症性腸疾患における生物学的製剤の役割とバイオシミラーへの期待」

東京医科歯科大学 消化器内科 准教授 長堀 正和

第2日目 10月28日(日)

ランチョンセミナー③(共催:大原薬品工業株式会社) 11:30~12:30

第1会場(シェーンバツハ・サボー木曾)

座長:神田 博仁(信州大学医学部附属病院 副薬剤部長)

「臨床検査値を活用した処方監査の質的向上」

千葉大学医学部附属病院 薬剤主任 横山 威一郎

ランチョンセミナー④(共催:あゆみ製薬株式会社) 11:30~12:30

第2会場(シェーンバツハ・サボー淀)

座長:林 昌洋(虎の門病院 薬剤部長)

「アセトアミノフェンと肝機能検査」

北里大学医学部附属病院 臨床研究センター 教授 熊谷 雄治

ランチョンセミナー⑤(共催:日本化薬株式会社) 11:30~12:30

第3会場(シェーンバツハ・サボー信濃)

座長:武田 泰生(鹿児島大学病院 教授・薬剤部長)

「これからの病院薬剤師のキャリアビジョン

～求められる知識・技能・態度～」

山口大学医学部附属病院 教授・薬剤部長 北原 隆志

***** M E M O *****